平成 25 年 12 月 20 日

各　位

会 社 名　　日本和装ホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　　吉田重久
（コード番号：2499　東証第二部）
問合せ先　　常務取締役管理本部長　　菅野泰弘
（ TEL. 03－3216－0070）

平成 25 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 6 月 20 日に公表いたしました平成 25 年 12 月期（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）の通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 25 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	6,000	340	300	155	17．22
今回発表予想（B）	6,000	440	390	200	22．22
増減額（B-A）	0	100	90	45	―
増減率（%）	0	29.4	30.0	29.0	―
（ご参考）前期実績（平成 24 年 12 月期）	5,467	△269	△327	△233	△25．98

（注）当社は平成 25 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。
そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり当期純利益を算定しております。

＜修正の理由＞

平成 25 年 12 月期は、前期の業績赤字からのＶ字回復を最大の使命に、代表取締役社長吉田重久が営業本部長を兼任し、管理・営業のあらゆる場面で陣頭指揮を執り、全社一丸となり邁進してまいりました。

「顧客参加型企業」を当社の中長期的な成長戦略とした２年目にあたる当期は、すべてにおいて、お客様が主人公となる施策を繰り出しました。お客様が当社を宣伝する広告、お客様が着物モデルとして出演したことでギネス世界記録に認定されたイベント、お客様による「日本和装の応援団」が全国で結成されるなど、まさに「顧客参加型企業」が形となり、業績の向上に寄与した一年となりました。

利益面においては、当期を「第二の創業期」と捉え、徹底的なコストバランスの意識付けや、当社のビジネスモデルである「教えて・伝えて・流通を促す」の原点にかえった着付け教室の運営など、効率的な営業ができたことにより、販売費及び一般管理費が減少しました。

これらの結果、期初の宣言とおりに、業績のＶ字回復を達成する見込みとなりました。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は今後の様々な要因の変化により、予想値と異なる結果となる可能性があります。なお、当社の平成 25 年 12 月期決算短信の開示は、平成 26 年 2 月 13 日を予定しております。

以　上